

**中京テレビ放送は
平成22年 日本民間放送連盟賞
教養部門で1位を獲得しました**

○作品名「ハウスブルー 主婦たちのうつ事情」

7月8日・9日の両日、名古屋にて平成22年度民放連盟賞テレビ部門 中部・北陸地区審査会が開催され、中京テレビが「教養部門」で1位を獲得しました。



【作 品 名】 「ハウスブルー 主婦たちのうつ事情」

自殺による死者が12年連続で3万人を超えた。最も多い原因が「うつ病」。既に患者数は100万人を超えている。働き盛りの男性のうつばかりが注目されているが、女性患者数は男性の1.7倍。発症の可能性も2倍高いと言われている。男性は仕事や職場が原因となっても家庭を心のより所にできるが、家庭環境そのものがブルーな気持ちの原因となる主婦の場合、逃げ場が無く治癒に時間がかかるという。うつで入退院を繰り返す主婦・弥生さん(33)が「この病気のことを世の中の人に知ってもらいたい」と名前も顔をふせずに取材に応じてくれた。その壮絶な暮らしぶりから、主婦がうつになる事の深刻さをクローズアップする。

【放 送 日】

2010年4月25日 24:50～25:20

2010年5月27日 25:49～26:49